

教職課程開講科目一覽 2024

目次

I 適用免許法	1	III 旧課程	19
II 新課程	2	1 旧課程の科目一覧について (継続履修登録出願の方)	19
1 履修すべき授業科目	2		
2 総合教育科目(免許法施行規則第66条の6 に定める科目)	2		
(1) 日本国憲法	2		
(2) 数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	2		
(3) 外国語コミュニケーション	2		
(4) 体 育	3		
(5) 履修上の注意	3		
3 教育の基礎的理解に関する科目等	3		
(1) 系列および最低修得単位数(第1表)	3		
(2) 履修上の注意	4		
(3) 設置科目(第2表)	4		
4 教科及び教科の指導法に関する科目について の注意事項(各教科共通)	5		
5 教科及び教科の指導法に関する科目 <文学部>	6		
(1) 国語科(中学校)／文学部	6		
(2) 国語科(高等学校)／文学部	7		
(3) 社会科(中学校)／文学部	8		
(4) 地理歴史科(高等学校)／文学部	9		
(5) 公民科(高等学校)／文学部	10		
(6) 英語科(中学校)／文学部	11		
(7) 英語科(高等学校)／文学部	12		
6 教科及び教科の指導法に関する科目 <経済学部>	13		
(1) 社会科(中学校)／経済学部	13		
(2) 地理歴史科(高等学校)／経済学部	14		
(3) 公民科(高等学校)／経済学部	15		
7 教科及び教科の指導法に関する科目 <法学部>	16		
(1) 社会科(中学校)／法学部	16		
(2) 地理歴史科(高等学校)／法学部	17		
(3) 公民科(高等学校)／法学部	18		
8 大学が独自に設定する科目	18		

I 適用免許法

平成 28 年度（2016 年度）に教育職員免許法が改正され、平成 31 年（2019 年）4 月 1 日から施行されました。適用される法律は、以下のように 2 種類に分かれます。

旧法（平成 10 年（1998 年改正法））：旧課程

新法（平成 28 年（2016 年改正法））：新課程（2019 年 4 月 1 日より履修開始）

当課程では、上記の各法に基づく履修科目を開設しています。適用される法律は、登録時期により異なりますので、各自どの法律が適用されるかについては、以下の表を参照してください。ご自身に適用される課程を確認した後、各課程に対応した頁を参照し、履修計画を立ててください。

登録期	登録の時期	履修する課程	備考
4 月期登録	2018 年 4 月期以前	旧課程	・ 学籍が継続する*限り旧課程での履修となる。
	2019 年 4 月期以降	新課程	・ 学籍が継続する*限り新課程での履修となる。 ・ 2019 年 3 月に本学通信教育課程または通学課程を卒業後、ただちに出席した場合においても新課程が適用される。
10 月期登録	2018 年 10 月期以前	旧課程	・ 学籍が継続する*限り旧課程での履修となる。
	2019 年 10 月期以降	新課程	・ 学籍が継続する*限り新課程での履修となる。 ・ 2019 年 9 月に本学通信教育課程または通学課程を卒業後、ただちに出席した場合においても新課程が適用される。

*「学籍が継続する」とは、同一の学籍番号をもって在籍を継続することをいいます。退籍あるいは在籍期間が満了し、あらためて教職課程科目等履修生に在籍した場合（学籍番号が変更されている場合。これを「学籍の変動」といいます）には、新課程が適用されます。

旧課程と新課程では、教員免許状取得のために修得しなければならない科目が一部異なります（合計の単位数については変更ありません）。**適用される課程の科目以外は、修得したとしても、原則として教員免許状取得に用いることができません。**

ただし、旧課程において単位を修得していたが、学籍の変動に伴って新課程が適用された場合、旧課程で修得した単位を新課程でも読み替えることが可能です。多くの単位が読み替え可能となりますが、旧課程で修得した全ての科目の単位が必ず読み替えられるとは限らず、系列によっては新たに履修が必要な科目が増える場合があります。充分注意して学習を進めてください。ご不明な点があれば、通信教育部事務局教務担当教職係までお問い合わせください。

Ⅱ 新課程

1 履修すべき授業科目

新課程で必要となる科目および単位数の概要は、以下のとおりです（最低8単位＋最低5.9単位）。

総合教育科目（免許法施行規則第66条の6に定める科目）：最低8単位

	必要単位数		設置科目および履修に関する注意
	中学校	高等学校	
総合教育科目（日本国憲法、数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作、外国語コミュニケーション、体育）	計：8単位	計：8単位	⇒2参照

「総合教育科目」を除く教員免許状を取得するために必要な履修科目：最低5.9単位

科目の分類	必要単位数		設置科目および履修に関する注意
	中学校	高等学校	
教育の基礎的理解に関する科目等	2.7	2.3	⇒3参照
教科及び教科の指導法に関する科目	2.8	2.4	⇒4～7参照
大学が独自に設定する科目	4	1.2	⇒8参照
	計：5.9単位	計：5.9単位	

2 総合教育科目（免許法施行規則第66条の6に定める科目）

教育職員免許法には、「教員として必要な幅広く深い教養」を身につけることが規定されています。教員免許状を取得するためには、特に、次の単位が必修となっています。

項 目	設置科目	単位数	必要単位数
日本国憲法	法学（憲法を含む）	4	2単位
	*法学（憲法を含む）	2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	*情報処理	2	2単位
外国語コミュニケーション	*英語（リーディング）	1	2単位
	*英語（ライティング）	1	
	*ドイツ語（各グレード）	1	
	*フランス語（各グレード）	1	
体 育	体育理論	2	2単位
	*スポーツセミナー	2	
	*スポーツクラス	1	

*スクーリング開講科目（受講料は別途納入）

（1）日本国憲法

当課程ではテキストおよびスクーリングの「法学（憲法を含む）」が該当しますので、いずれかで1科目以上を履修してください。「法学（憲法を含む）」をテキストで履修した場合は、修得した4単位のうち、2単位のみを教職課程の単位として証明します。なお、専門教育科目の「憲法」の単位は、免許法施行規則第66条の6に定める科目の「日本国憲法」の単位としては証明しませんので注意してください。

（2）数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作

当課程ではスクーリング「情報処理」が該当します。

（3）外国語コミュニケーション

当課程では必修外国語の単位が該当しますので、「英語」「ドイツ語」「フランス語」のいずれかをスクーリングあるいはメディア授業・放送授業（放送授業は2022年度まで開講）で修得してください。「英語」を選択する場

合は「リーディング」と「ライティング」を各1単位、「ドイツ語」「フランス語」を選択する場合は、同一の科目からグレードの異なる2単位を履修してください。

(4) 体 育

「保健衛生」の単位は、教職課程の「体育」の単位としては認められていませんので注意してください。なお、2013年度まで開講されていた「体育実技」は単位としては有効です。

(5) 履修上の注意

スクーリング開講科目については、開講年度の講義要綱・シラバス（Web サイトにて3月上旬に公開）で確認してください。

3 教育の基礎的理解に関する科目等

(1) 系列および最低修得単位数（第1表）

系 列			最低修得単位数	
			中学校	高等学校
A	教育の基礎的理解に関する科目	1 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1 0	1 0
		2 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		
		3 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		
		4 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		
		5 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		
		6 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		
B	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	1 道徳の理論及び指導法	1 0	8
		2 総合的な学習（探究）の時間の指導法		
		3 特別活動の指導法		
		4 教育の方法及び技術		
		5 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
		6 生徒指導の理論及び方法		
		7 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		
		8 進路相談及びキャリア教育の理論及び方法		
C	教育実践に関する科目	1 教育実習	5	3
		2 教職実践演習	2	2
合 計			2 7	2 3

(2) 履修上の注意

- ①各系列（A～C）の最低修得単位数を満たすと同時に、合計の履修単位数が、中学校免許状を取得する場合は27単位以上、高等学校免許状を取得する場合は23単位以上となるように科目を選択してください。
- ②各系列（A～C）に◎必修科目、○選択必修科目を含めて履修してください。
- ③修得単位は、中学校と高等学校の両方の免許状申請に使えます。
- ④スクーリング開講科目については、Web サイトにて3月上旬に公開します。
- ⑤**授業形態（テキスト科目、スクーリング科目）やスクーリング科目の担当者が異なっても、同一科目名の単位は同一科目とみなし1科目分しか教職課程の単位としては認定しません。**
- ⑥「教育方法論」、「*教育方法論」、「*教育方法論Ⅰ」は同一科目とみなし1科目分しか教職課程の単位としては認定しません。「総合的な学習の時間」教育法と「総合的な探究・学習論」は同一科目とみなし1科目しか教職課程の単位としては認定しません。「現代教師論」と「*現代教師論」は同一科目とみなし1科目しか教職課程の単位としては認定しません。
- ⑦各科目の履修には様々な条件が付帯しています。各表の注記にもよく目を通して履修計画を立ててください。

(3) 設置科目（第2表）

系 列		設置科目	単位 数	最低修得単位数	
				中学校	高等学校
A	1・3	◎教育基礎論	2 ☆	10	10
	1	教育思想史 教育史	4 4		
	2	*○現代教師論（2022年度まで開講） ○現代教師論	2 2 ☆		
	4	◎教育心理学	2		
	5	◎特別支援教育論	2 ☆		
	6	◎学校カリキュラム論	2 ☆		
B	1	*◎道徳教育論 注1	2	10	8
	2	○総合的な探究・学習論 ○◇「総合的な学習の時間」教育法	1 ☆ 1 ☆		
	3	◎特別活動論	2 ☆		
	4	○◇教育方法論 *○教育方法論（2021年度まで開講） *○教育方法論Ⅰ	2 ☆ 2 2 ☆		
	5	*（◎）教育方法論Ⅱ（ICTの活用）注3	1		
	6・8	◎生徒指導論（進路指導を含む）	2 ☆		
	7	○教育相談論 ○◇教育相談論	2 ☆ 1 ☆		
C	1 注2	◎教育実習基礎 ○教育実習A ○教育実習B 学校研究実習	1 2 4 2	5	3
	2	*◎教職実践演習（中・高） 注4	2	2	2
合 計				27	23

◎必修科目、○選択必修科目、*スクーリング開講科目、☆市販書採用科目、◇現在配本されていない科目（履修申告できません）

注1 B1系列「道徳教育論」は、中学校免許状を取得する場合のみ必修です。

高等学校免許状の場合、「道徳教育論」は「大学が独自に設定する科目」として数えます。

注2 ・教育実習は教職課程の履修を終える最終年度に行います。教職課程を初めて履修する年度にC系列の科目を履修することはできません。

- ・「教育実習」は当通信教育課程の卒業予定者または卒業者のみ履修できます。通学課程卒業の教職課程科目等履修生は通学課程で「教育実習」を履修することになります。
- ・「教育実習 A」と「教育実習 B」はいずれか1科目を選択して履修する必要があります。なお、2教科以上の免許状を取得する場合でも、教育実習はいずれかひとつの教科で行えば十分です。
- ・「教育実習基礎」と「教育実習 A」あるいは「教育実習 B」は同一年度に履修しなければなりません。これらを分割して履修することはできません。
- ・慶應義塾大学で「教育実習」を履修する場合は、C2系列の「教職実践演習（中・高）」を当大学で履修しなければなりません。
- ・教育実習の詳細は8章「教育実習」を参照してください。

注3 ・B系列「教育方法論Ⅱ（ICTの活用）」は、2022年度以降の入学者は必修です。履修にあたっては、それ以前に「教育方法論Ⅰ」または2021年度まで開講の「教育方法論」を履修しておくことが望ましいです。

注4 ・「教職実践演習（中・高）」は教職課程からみて最終年度（多くは教育実習履修年度）以降でなければ履修できません。教育実習を年度の途中で取りやめた場合（事後指導欠席などにより教育実習の単位が修得できない場合も含む）は、原則として「教職実践演習（中・高）」の履修も中止しなければなりません。

4 教科及び教科の指導法に関する科目についての注意事項（各教科共通）

- ① 各系列に◎必修科目、○選択必修科目を含めて1科目以上を履修し、「各教科の指導法」とあわせて、中学校免許状を取得する場合で合計28単位以上、高等学校免許状を取得する場合で24単位以上を修得してください。28単位（24単位）の内訳について、本学では「教科に関する専門的事項」を20単位以上修得するように指導しています [注]。
- ② 「教科に関する専門的事項」の各系列に必ず1科目はテキスト科目を含めなければなりません。
- ③ スクーリング開講科目については、必ず開講年度の講義要綱・シラバス（Webサイトにて3月上旬に公開）を確認してください。スクーリング開講科目は、学事日程上の都合その他のやむを得ない事情により、開講されないこともあるため、履修計画を立てる際には、充分注意してください。
- ④ 「教科に関する専門的事項」では、授業形態（テキスト科目・スクーリング科目）が異なれば、同一科目名でも別の科目とみなします。さらに、スクーリング科目については、同一科目名でも、担当者が異なれば、複数回の履修による修得単位を教職課程の単位として認定します。

ただし、次の科目名で開講される場合のスクーリング科目は、担当者が異なっても教職課程の単位として認定されるのは2回までです。通信教育課程卒業後、教職課程科目等履修生として在籍する場合も、1人2回までの履修による修得単位しか教職課程の単位としては認められません。

単位認定が2回までのスクーリング科目（以下の科目名で開講される場合）
「憲法」、「英会話」

- ⑤ 「各教科の指導法」では、スクーリング科目の担当者が異なっても、同一科目名の単位は同一科目とみなし1科目分しか教職課程の単位としては認定しません。
- ⑥ 「各教科の指導法」は、教育実習を行う教科と同一のものを、教育実習を行う年度よりも前に単位修得しておく必要があります。この点に関する詳細は、8章「教育実習」を参照してください。
- ⑦ 「教科及び教科の指導法に関する科目」の履修には教科別に様々な条件が付帯しています。各教科の表の末尾の注記にもよく目を通して履修計画を立ててください。

[注]「教科に関する専門的事項」の修得単位が20単位に満たない場合でも、免許状を取得できることがあります。本学では例外的ケースに限られるのでこの履修案内には記載しませんが、必要に迫られたときは通信教育部教務担当教職係に相談してください。

5 教科及び教科の指導法に関する科目 <文学部>

(1) 国語科（中学校）／文学部

系 列			設置科目	単位数	最低修得単位数
教科に関する専門的事項	A	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	◎日本語学 ◇国語学 * 国語学 国語学各論 * 国語学各論	2☆ 2 2 1 2	1科目 以上履修
	B	国文学（国文学史を含む。）	国文学 * 国文学 ◎国文学史 * 国文学史 近代日本文学 * 近代日本文学 * 国文学古典研究 国文学古典研究Ⅰ 国文学古典研究Ⅱ－1 国文学古典研究Ⅱ－2 国文学古典研究Ⅲ 国文学古典研究Ⅳ 国語国文学古典研究Ⅴ	4☆ 2 3 2 3 2 2 1 1 1 1 1 2☆	1科目 以上履修
	C	漢文学	○漢文学Ⅰ ○漢文学Ⅱ ○漢文学Ⅲ *○漢文学	2 1 1 2	1科目 以上履修
	D 注1	書道（書写を中心とする。）	◎書道 * 書道 古文書学	2 2 2☆	1科目 以上履修
	E	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎国語科教育法Ⅰ *◎国語科教育法Ⅱ ◎国語科教育法特殊Ⅰ *◎国語科教育法特殊Ⅱ	2☆ 2 2☆ 2	全科目履修
合 計					28単位

◎必修科目、○選択必修科目、*スクーリング開講科目、◇現在配本されていない科目（履修申告できません）、☆市販書採用科目

注意：① 各系列（A～E）に◎必修科目、○選択必修科目を含めて履修し、合計28単位以上を修得してください。

② 各系列（A～D）に必ず1科目はテキスト科目を含めなければなりません。

注1（D系列）

「書道」は中学校免許取得の場合のみ必修です。高等学校免許には使うことができません。

(2) 国語科 (高等学校) / 文学部

系 列		設置科目	単位数	最低修得単位数
教科に関する専門的事項	A	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。) ◎日本語学 ◇国語学 * 国語学 国語学各論 * 国語学各論	2☆ 2 2 1 2	1科目 以上履修
	B	国文学 (国文学史を含む。) 国文学 * 国文学 ◎国文学史 * 国文学史 近代日本文学 * 近代日本文学 * 国文学古典研究 国文学古典研究Ⅰ 国文学古典研究Ⅱ-1 国文学古典研究Ⅱ-2 国文学古典研究Ⅲ 国文学古典研究Ⅳ 国語国文学古典研究Ⅴ	4☆ 2 3 2 3 2 2 1 1 1 1 1 2☆	1科目 以上履修
	C	漢文学 ○漢文学Ⅰ ○漢文学Ⅱ ○漢文学Ⅲ *○漢文学	2 1 1 1 2	1科目 以上履修
	D	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。) ◎国語科教育法Ⅰ *◎国語科教育法Ⅱ 国語科教育法特殊Ⅰ * 国語科教育法特殊Ⅱ	2☆ 2 2☆ 2	2科目 以上履修
合 計				24 単位

◎必修科目、○選択必修科目、*スクーリング開講科目、◇現在配本されていない科目(履修申告できません)、☆市販書採用科目

注意: ① 各系列 (A～D) に◎必修科目、○選択必修科目を含めて履修し、合計 24 単位以上を修得してください。

② 各系列 (A～C) に必ず 1 科目はテキスト科目を含めなければなりません。

(3) 社会科 (中学校) / 文学部

系 列			設置科目	単位数	最低修得単位数
教科に関する専門的事項	A	日本史・外国史	◎日本史概論 ◎世界史概論 日本史概説Ⅰ * 日本史概説 東洋史概説Ⅰ 東洋史概説Ⅱ 西洋史概説Ⅰ 西洋史概説Ⅱ 史学概論 日本史特殊Ⅰ 日本史特殊Ⅱ 日本史特殊Ⅳ 西洋史特殊Ⅰ 西洋史特殊Ⅱ 西洋史特殊Ⅲ 日本美術史Ⅰ 考古学 オリエント考古学	2☆ 2☆ 2☆ 2 2 2 2 2 2 2 2☆ 2☆ 2 2 2 2☆ 2☆	2科目以上履修
	B	地理学 (地誌を含む。)	地理学Ⅰ (L) ◎地理学Ⅱ (地誌学) (L) 人文地理学 (L) * 経済地理	2 2 2 2	1科目以上履修
	C	「法学、政治学」	○法学概論 (L) ○政治学 (J) 憲法 (E) 民法総論 刑法総論	2☆ 6 2☆ 3☆ 3☆	1科目以上履修
	D	「社会学、経済学」	*○社会学 (専門) ○〔経済原論 (ミクロ経済学) (E) 経済原論 (マクロ経済学) (E) 社会調査 ◇社会学史Ⅰ 社会学史Ⅱ 経済政策学 (E) 社会心理学 メディア社会心理学	2 2 2 2☆ 2☆ 2☆ 2 2 2☆	1科目以上履修
	E	「哲学、倫理学、宗教学」	*○哲学 (専門) *○宗教学 ○倫理学 論理学 (L)	2 2 2 2	1科目以上履修
	F	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	◎社会科・地理歴史科教育法Ⅰ *◎社会科・地理歴史科教育法Ⅱ ◎社会科・公民科教育法Ⅰ *◎社会科・公民科教育法Ⅱ	2☆ 2 2☆ 2	全科目履修
合 計					28単位

◎必修科目、○選択必修科目、*スクーリング開講科目、◇現在配本されていない科目(履修申告できません)、☆市販書採用科目

注意: ① 各系列 (A～F) に◎必修科目、○選択必修科目を含めて履修し、合計 28 単位以上を修得してください。

② 各系列 (A～E) に必ず 1 科目はテキスト科目を含めなければなりません。

(4) 地理歴史科 (高等学校) / 文学部

系 列			設置科目	単位 数	最低修得 単位数
教科に 関する 専門的 事項	A	日本史	◎日本史概論 日本史概説Ⅰ * 日本史概説 史学概論 日本史特殊Ⅰ 日本史特殊Ⅱ 日本美術史Ⅰ	2 ☆ 2 ☆ 2 2 2 2 2	1 科目 以上履修
	B	外国史	◎世界史概論 東洋史概説Ⅰ 東洋史概説Ⅱ 西洋史概説Ⅰ 西洋史概説Ⅱ 西洋史特殊Ⅰ 西洋史特殊Ⅱ 西洋史特殊Ⅲ * 西洋美術史 オリエント考古学	2 ☆ 2 2 2 2 2 ☆ 2 ☆ 2 2 2 ☆	1 科目 以上履修
	C	人文地理学・自然地理学	◎地理学Ⅰ (L) 人文地理学 (L) * 経済地理	2 2 2	1 科目 以上履修
	D	地誌	◎地理学Ⅱ (地誌学) (L)	2	1 科目 以上履修
	E	各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	◎社会科・地理歴史科教育法Ⅰ *◎社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2 ☆ 2	全科目履修
合 計					24 単位

◎必修科目、○選択必修科目、*スクーリング開講科目、◇現在配本されていない科目(履修申告できません)、☆市販書採用科目

注意: ① 各系列 (A～E) に◎必修科目、○選択必修科目を含めて履修し、合計 24 単位以上を修得してください。

② 各系列 (A～D) に必ず 1 科目はテキスト科目を含めなければなりません。

(5) 公民科 (高等学校) / 文学部

系 列			設置科目	単位数	最低修得単位数
教科に関する専門的事項	A	「法学 (国際法を含む。)、政治学 (国際政治を含む。)」	○法学概論 (L) ○政治学 (J) 憲法 (E) 民法総論 刑法総論	2☆ 6 2☆ 3☆ 3☆	1科目以上履修
	B	「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	*○社会学 (専門) ○〔経済原論 (ミクロ経済学) (E) 経済原論 (マクロ経済学) (E) 社会調査 ◇社会学史 I 社会学史 II 経済政策学 (E) 社会心理学 メディア社会心理学 * 世界経済論	2 2 2 2☆ 2☆ 2☆ 2 2 2☆ 2	1科目以上履修
	C	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	*○哲学 (専門) *○宗教学 ○倫理学 論理学 (L) 心理学 A 心理学 B ◇心理学 I ◇心理学 II 心理・教育統計学	2 2 2 2 2☆ 2☆ 2 2 3	1科目以上履修
	D	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	◎社会科・公民科教育法 I *◎社会科・公民科教育法 II	2☆ 2	全科目履修
合 計					24 単位

◎必修科目、○選択必修科目、*スクーリング開講科目、◇現在配本されていない科目(履修申告できません)、☆市販書採用科目

注意: ① 各系列 (A~D) に◎必修科目、○選択必修科目を含めて履修し、合計 24 単位以上を修得してください。

② 各系列 (A~C) に必ず 1 科目はテキスト科目を含めなければなりません。

(6) 英語科 (中学校) / 文学部

系 列			設置科目	単位 数	最低修得 単位数
教科に 関する 専門的 事項	A	英語学	* 英語学 ○英語学概論 ○現代英語学 英語音声学 * 英語音声学 英語史	2 3 3 2 2 2	1 科目 以上履修
	B	英語文学	○ 中世英文学史 近世英文学史 現代英文学 ○アメリカ文学 注1 アメリカ文学研究Ⅰ アメリカ文学研究Ⅱ イギリス文学研究Ⅰ イギリス文学研究Ⅱ イギリス文学研究Ⅲ シェイクスピア研究 英文学特殊	2 2 2 2☆ 2 2☆ 2 2 2 2 2 2	1 科目 以上履修
	C	英語コミュニケーション	*◎英会話 注2 ◎ACADEMIC WRITINGⅠ ◎ACADEMIC WRITINGⅡ	1 2 4	全科目履修
	D	異文化理解	◎日米比較文化論 (総論) * 日米比較文化論	2☆ 2	1 科目 以上履修
	E	各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	◎英語科教育法Ⅰ *◎英語科教育法Ⅱ 注3 ◎英語科教育法特殊Ⅰ 注4 *◎英語科教育法特殊Ⅱ 注5	2☆ 2 2☆ 2	全科目履修
合 計					28 単位

◎必修科目、○選択必修科目、*スクーリング開講科目、◇現在配本されていない科目(履修申告できません)、☆市販書採用科目

注意: ① 各系列(A～E)に◎必修科目、○選択必修科目を含めて履修し、合計28単位以上を修得してください。

② 各系列(A～D)に必ず1科目はテキスト科目を含めなければなりません。

注1 「アメリカ文学」は、通信テキスト(履修申告後に配本)と市販書の2冊が指定テキストとなります。

注2 ・「英会話」は担当者が異なれば、2回までの修得単位を教職課程の単位として認定します。通信教育課程卒業後、教職課程科目等履修生として在籍する場合も、1人2回までの履修による修得単位しか使えません。

・「英会話」を履修するには、次の条件を満たしている必要があります。

通信教育課程の正科生・通信教育課程卒業の教職課程科目等履修生

総合教育科目のスクーリングで「英語(リーディング)」(1単位)と「英語(ライティング)」(1単位)の計2単位を修得していること(学士入学者はメディア授業・放送授業(放送授業は2022年度まで開講)による単位修得も可能)

通学課程卒業の教職課程科目等履修生

学部在籍時に総合教育科目の外国語(英語)の必修科目2単位を修得していること

修得していない場合、通信教育課程総合教育科目のスクーリングあるいはメディア授業・放送授業(放送授業は2022年度まで開講)で、「英語(リーディング)」(1単位)および「英語(ライティング)」(1単位)の計2単位を修得した後、「英会話」を履修することになりますので、「英会話」の単位修得までに最短でも2年を要します。

注3 「英語科教育法Ⅱ」の履修に関しては、「英語科教育法Ⅰ」を単位修得済である必要があります。

注4 「英語科教育法特殊Ⅰ」の履修に関しては、「英語科教育法Ⅰ」を単位修得済であることが望ましいです。

注5 「英語科教育法特殊Ⅱ」の履修に関しては、「英語科教育法Ⅰ」を単位修得済である必要があります。

(7) 英語科 (高等学校) / 文学部

系 列			設置科目	単位 数	最低修得 単位数
教科に 関する 専門的 事項	A	英語学	* 英語学 ○英語学概論 ○現代英語学 英語音声学 * 英語音声学 英語史	2 3 3 2 2 2	1 科目 以上履修
	B	英語文学	○ 中世英文学史 近世英文学史 現代英文学 ○アメリカ文学 注1 アメリカ文学研究Ⅰ アメリカ文学研究Ⅱ イギリス文学研究Ⅰ イギリス文学研究Ⅱ イギリス文学研究Ⅲ シェイクスピア研究 英文学特殊	2 2 2 2 ☆ 2 2 ☆ 2 2 2 2 2	1 科目 以上履修
	C	英語コミュニケーション	*◎英会話 注2 ◎ACADEMIC WRITINGⅠ ◎ACADEMIC WRITINGⅡ	1 2 4	全科目 履修
	D	異文化理解	◎日米比較文化論（総論） * 日米比較文化論	2 ☆ 2	1 科目 以上履修
	E	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎英語科教育法Ⅰ *◎英語科教育法Ⅱ 注3 英語科教育法特殊Ⅰ 注4 * 英語科教育法特殊Ⅱ 注5	2 ☆ 2 2 ☆ 2	2 科目以上 履修
合 計					24 単位

◎必修科目、○選択必修科目、*スクーリング開講科目、◇現在配本されていない科目(履修申告できません)、☆市販書採用科目

注意: ① 各系列 (A～E) に◎必修科目、○選択必修科目を含めて履修し、合計 24 単位以上を修得してください。

② 各系列 (A～D) に必ず 1 科目はテキスト科目を含めなければなりません。

注1 「アメリカ文学」は、通信テキスト (履修申告後に配本) と市販書の 2 冊が指定テキストとなります。

注2 ・「英会話」は担当者が異なれば、2 回までの修得単位を教職課程の単位として認定します。通信教育課程卒業後、教職課程科目等履修生として在籍する場合も、1 人 2 回までの履修による修得単位しか使えません。

・「英会話」を履修するには、次の条件を満たしていることが必要です。

通信教育課程の正科生・通信教育課程卒業の教職課程科目等履修生

総合教育科目のスクーリングで「英語 (リーディング)」(1 単位) と「英語 (ライティング)」(1 単位) の計 2 単位を修得していること (学士入学者はメディア授業・放送授業 (放送授業は 2022 年度まで開講) による単位修得も可能)

通学課程卒業の教職課程科目等履修生

学部在籍時に総合教育科目の外国語 (英語) の必修科目 2 単位を修得していること

修得していない場合、通信教育課程総合教育科目のスクーリングあるいはメディア授業・放送授業 (放送授業は 2022 年度まで開講) で、「英語 (リーディング)」(1 単位) および「英語 (ライティング)」(1 単位) の計 2 単位を修得した後、「英会話」を履修することになりますので、「英会話」の単位修得までに最短でも 2 年を要します。

注3 「英語科教育法Ⅱ」の履修に関しては、「英語科教育法Ⅰ」を単位修得済であることが必要です。

注4 「英語科教育法特殊Ⅰ」の履修に関しては、「英語科教育法Ⅰ」を単位修得済であることが望ましいです。

注5 「英語科教育法特殊Ⅱ」の履修に関しては、「英語科教育法Ⅰ」を単位修得済であることが必要です。

6 教科及び教科の指導法に関する科目 <経済学部>

(1) 社会科（中学校）／経済学部

系 列			設置科目	単位数	最低修得単位数
教科に関する専門的事項	A	日本史・外国史	◎日本史概論 ◎世界史概論 日本史概説Ⅰ * 日本史概説 東洋史概説Ⅰ 東洋史概説Ⅱ 西洋史概説Ⅰ 西洋史概説Ⅱ 日本経済史	2☆ 2☆ 2☆ 2 2 2 2 2 2☆	2科目以上履修
	B	地理学（地誌を含む。）	地理学Ⅰ（E） ◎地理学Ⅱ（地誌学）（E） 人文地理学（E） * 経済地理	2 2 2 2	1科目以上履修
	C	「法学、政治学」	○法学概論（E） ○政治学（J） 憲法（E） 民法 刑法総論 社会政策（E） 会社法（E） * 会社法 労働法（E） 経済法（E）	2☆ 6 2☆ 4☆ 3☆ 2☆ 4☆ 2 2☆ 2☆	1科目以上履修
	D	「社会学、経済学」	*○社会学（専門） ○〔経済原論（ミクロ経済学）（E） 経済原論（マクロ経済学）（E） 経済政策学（E） 財政論（E） 経営学（E） 国民所得論 社会思想史 * 社会思想史 商業学 * 世界経済論	2 2 2 2 2☆ 3☆ 2 4☆ 2 2☆ 2	1科目以上履修
	E	「哲学、倫理学、宗教学」	*○哲学（専門） *○宗教学 ○倫理学 論理学（L）	2 2 2 2	1科目以上履修
	F	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎社会科・地理歴史科教育法Ⅰ *◎社会科・地理歴史科教育法Ⅱ ◎社会科・公民科教育法Ⅰ *◎社会科・公民科教育法Ⅱ	2☆ 2 2☆ 2	全科目履修
合 計					28単位

◎必修科目、○選択必修科目、*スクーリング開講科目、◇現在配本されていない科目（履修申告できません）、☆市販書採用科目

注意：① 各系列（A～F）に◎必修科目、○選択必修科目を含めて履修し、合計28単位以上を修得してください。

② 各系列（A～E）に必ず1科目はテキスト科目を含めなければなりません。

(2) 地理歴史科 (高等学校) / 経済学部

系 列			設置科目	単位 数	最低修得 単位数
教科に 関する 専門的 事項	A	日本史	◎日本史概論 日本史概説Ⅰ * 日本史概説 日本経済史 史学概論	2☆ 2☆ 2 2☆ 2	1科目 以上履修
	B	外国史	◎世界史概論 東洋史概説Ⅰ 東洋史概説Ⅱ 西洋史概説Ⅰ 西洋史概説Ⅱ	2☆ 2 2 2 2	1科目 以上履修
	C	人文地理学・自然地理学	◎地理学Ⅰ (E) 人文地理学 (E) * 経済地理	2 2 2	1科目 以上履修
	D	地誌	◎地理学Ⅱ (地誌学) (E)	2	全科目履修
E		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	◎社会科・地理歴史科教育法Ⅰ *◎社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2☆ 2	全科目履修
合 計					24 単位

◎必修科目、○選択必修科目、*スクーリング開講科目、◇現在配本されていない科目(履修申告できません)、☆市販書採用科目

注意: ① 各系列 (A～E) に◎必修科目、○選択必修科目を含めて履修し、合計 24 単位以上を修得してください。

② 各系列 (A～D) に必ず 1 科目はテキスト科目を含めなければなりません。

(3) 公民科 (高等学校) / 経済学部

系 列		設置科目	単位 数	最低修得 単位数
教科に関する専門的事項	A	「法律学 (国際法を含む。)、政治学 (国際政治を含む。)」 ○法学概論 (E) ○政治学 (J) 憲法 (E) 民法 刑法総論 国際法Ⅰ 国際法Ⅱ 社会政策 (E) 会社法 (E) * 会社法 労働法 (E) 経済法 (E)	2☆ 6 2☆ 4☆ 3☆ 4☆ 2☆ 2☆ 4☆ 2 2☆ 2☆	1科目 以上履修
	B	「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」 *○社会学 (専門) ○〔経済原論 (ミクロ経済学) (E) 経済原論 (マクロ経済学) (E) 経済政策学 (E) 財政論 (E) 経営学 (E) 社会思想史 * 社会思想史 商業学 国民所得論 ◇経済変動論 マクロ経済学中級 * 世界経済論	2 2 2 2 2☆ 3☆ 4☆ 2 2☆ 2 2 4☆ 2	1科目 以上履修
	C	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 *○哲学 (専門) *○宗教学 ○倫理学 論理学 (L) 心理学A 心理学B ◇心理学Ⅰ ◇心理学Ⅱ	2 2 2 2 2☆ 2☆ 2 2	1科目 以上履修
	D	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。) ◎社会科・公民科教育法Ⅰ *◎社会科・公民科教育法Ⅱ	2☆ 2	全科目履修
合 計				24 単位

◎必修科目、○選択必修科目、*スクーリング開講科目、◇現在配本されていない科目(履修申告できません)、☆市販書採用科目

注意: ① 各系列 (A～D) に◎必修科目、○選択必修科目を含めて履修し、合計 24 単位以上を修得してください。

② 各系列 (A～C) に必ず 1 科目はテキスト科目を含めなければなりません。

7 教科及び教科の指導法に関する科目 <法学部>

(1) 社会科（中学校）／法学部

系 列			設置科目	単位数	最低修得単位数
教科に関する専門的事項	A	日本史・外国史	◎日本史概論 ◎世界史概論 日本史概説Ⅰ * 日本史概説 東洋史概説Ⅰ 東洋史概説Ⅱ 西洋史概説Ⅰ 西洋史概説Ⅱ ◇日本政治史Ⅰ ◇日本政治史Ⅱ 日本政治史 日本外交史Ⅰ 日本外交史Ⅱ ◇日本法制史Ⅰ ◇日本法制史Ⅱ 政治思想史 ヨーロッパ政治史 西洋外交史 アメリカ政治史	2☆ 2☆ 2☆ 2 2 2 2 2 2 2 4 4 2 4 4 2 4 1 4 4☆	2科目以上履修
	B	地理学（地誌を含む。）	地理学Ⅰ（J） ◎地理学Ⅱ（地誌学）（J） 人文地理学（J） * 経済地理	2 2 2 2	1科目以上履修
	C	「法律学、政治学」	○ 憲法（J） 民法総論 刑法総論 ○政治学（J） 国際法Ⅰ 国際法Ⅱ * 憲法 * 刑法 会社法（J） * 会社法 労働法（J） 経済法（J） 民事訴訟法 * 民事訴訟法 刑事訴訟法 * 刑事訴訟法	4☆ 3☆ 3☆ 6 4☆ 2☆ 2 2 4☆ 2 2☆ 2☆ 4☆ 2 4 2	1科目以上履修
	D	「社会学、経済学」	*○社会学（専門） ○ 経済原論（ミクロ経済学）（J） 経済原論（マクロ経済学）（J） 経済政策学（J） 財政論（J） 経営学（J） 社会思想史 * 社会思想史 * 世界経済論 国民所得論 コミュニケーション論	2 2 2 2 2☆ 3☆ 4☆ 2 2 2 2 4	1科目以上履修
	E	「哲学、倫理学、宗教学」	*○哲学（専門） *○宗教学 ○倫理学 論理学（L） 法哲学 政治哲学	2 2 2 2 2 2☆	1科目以上履修
	F	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎社会科・地理歴史科教育法Ⅰ *◎社会科・地理歴史科教育法Ⅱ ◎社会科・公民科教育法Ⅰ *◎社会科・公民科教育法Ⅱ	2☆ 2 2☆ 2	全科目履修
合 計					28単位

◎必修科目、○選択必修科目、*スクーリング開講科目、◇現在配本されていない科目(履修申告できません)、☆市販書採用科目
注意：① 各系列(A～F)に◎必修科目、○選択必修科目を含めて履修し、合計28単位以上を修得してください。
 ② 各系列(A～E)に必ず1科目はテキスト科目を含めなければなりません。

(2) 地理歴史科(高等学校)／法学部

系 列			設置科目	単位 数	最低修得 単位数
教科に 関する 専門的 事項	A	日本史	◎日本史概論 日本史概説Ⅰ * 日本史概説 ◇日本政治史Ⅰ ◇日本政治史Ⅱ 日本政治史 日本外交史Ⅰ 日本外交史Ⅱ ◇日本法制史Ⅰ ◇日本法制史Ⅱ 史学概論	2☆ 2☆ 2 2 2 2 4 4 2 4 2	1科目 以上履修
	B	外国史	◎世界史概論 東洋史概説Ⅰ 東洋史概説Ⅱ 西洋史概説Ⅰ 西洋史概説Ⅱ 政治思想史 ヨーロッパ政治史 西洋外交史 アメリカ政治史	2☆ 2 2 2 2 4 1 4 4☆	1科目 以上履修
	C	人文地理学・自然地理学	◎地理学Ⅰ(J) 人文地理学(J) * 経済地理	2 2 2	1科目 以上履修
	D	地誌	◎地理学Ⅱ(地誌学)(J)	2	1科目 以上履修
	E	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	◎社会科・地理歴史科教育法Ⅰ *◎社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2☆ 2	全科目履修
合 計					24単位

◎必修科目、○選択必修科目、*スクーリング開講科目、◇現在配本されていない科目(履修申告できません)、☆市販書採用科目
注意：① 各系列(A～E)に◎必修科目、○選択必修科目を含めて履修し、合計24単位以上を修得してください。
 ② 各系列(A～D)に必ず1科目はテキスト科目を含めなければなりません。

(3) 公民科 (高等学校) / 法学部

系 列			設置科目	単位数	最低修得単位数
教科に関する専門的事項	A	「法律学 (国際法を含む。)、政治学 (国際政治を含む。)」	○ 憲法 (J) 民法総論 刑法総論 国際法 I 国際法 II ○政治学 (J) * 憲法 * 刑法 会社法 (J) * 会社法 労働法 (J) 経済法 (J) 民事訴訟法 * 民事訴訟法 刑事訴訟法 * 刑事訴訟法	4☆ 3☆ 3☆ 4☆ 2☆ 6 2 2 4☆ 2 2☆ 2☆ 4☆ 2 4 2	1 科目以上履修
	B	「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	*○社会学 (専門) ○ 経済原論 (ミクロ経済学) (J) 経済原論 (マクロ経済学) (J) 経済政策学 (J) 財政論 (J) 経営学 (J) * 世界経済論 コミュニケーション論	2 2 2 2 2☆ 3☆ 2 4	1 科目以上履修
	C	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	*○哲学 (専門) *○宗教学 ○倫理学 ◇心理学 I ◇心理学 II 心理学 A 心理学 B 法哲学 政治哲学 論理学 (L)	2 2 2 2 2 2☆ 2☆ 2 2☆ 2	1 科目以上履修
	D	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	◎社会科・公民科教育法 I *◎社会科・公民科教育法 II	2☆ 2	全科目履修
合 計					24 単位

◎必修科目、○選択必修科目、*スクーリング開講科目、◇現在配本されていない科目 (履修申告できません)、☆市販書採用科目

注意: ① 各系列 (A~D) に◎必修科目、○選択必修科目を含めて履修し、合計 24 単位以上を修得してください。

② 各系列 (A~C) に必ず 1 科目はテキスト科目を含めなければなりません。

8 大学が独自に設定する科目

新課程では、「大学が独自に設定する科目」として、中学校一種免許状を取得する場合には 4 単位以上、高等学校 1 種免許状を取得する場合には 1 2 単位以上修得する必要があります。これらの単位は次の方法によって満たすことができます。いずれか 2 つ以上の方法を組み合わせてもかまいません。

- ・「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」を所定の最低単位数 (3 (1)、5 (1) ~ 7 (3) 参照) より多く履修することによって、その超過分の単位を「大学が独自に設定する科目」として計上する。
- ・高等学校一種免許状に関しては、「*道德教育論」を履修することによって、その単位を「大学が独自に設定する科目」として計上する。

Ⅲ 旧課程

1 旧課程の科目一覧について（継続履修登録出願の方）

旧課程の方の科目一覧は、2021 年度以降、本冊子に掲載しません。

なお、新規出願の方で、他大学との二重学籍等の都合により旧課程が適用される方は、旧課程の科目一覧を提供しますので、通信教育部教務担当教職係までお問い合わせください。

問い合わせ先

通信教育部事務局教務担当教職係

電話 03 - 5427 - 1586

月～金曜日 10 : 00～11 : 30、12 : 30～16 : 30

※通信教育課程 Web サイト「一般の方向けお問い合わせフォーム」からも
問い合わせいただけます。

※当面の間、電話およびメールによる問い合わせのみ

Keio University



〔非売品〕

2024 年 2 月発行

慶應義塾大学通信教育部

東京都港区三田 2 丁目 15-45